

講義コード	1056	科目区分	専門教育科目(スポーツ健康福祉専攻)
(フリガナ)	コーチングロン	(フリガナ)	ニシ ヒロフミ
授業科目名	コーチング論	担当教員名	西 博史
英文授業科目名	Coaching Theory		
基準年次(開講期)	4年生(後期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	火曜日/2時限/322		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心, 演習中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	コーチング, コミュニケーション, 気づき, 運動学習		
授業概要・目的	<p>コーチングはプレーヤーに優れたパフォーマンスとポジティブな心理的反応をもたらすことを目的としている。スポーツにおいて適切なコーチングが行われるとそれに応じてパフォーマンスも向上する。</p> <p>本授業の目的はスポーツ現場におけるコーチングの役割や理論を理解すること, 優れた運動指導者としての基礎的な知識やスキル習得することである。</p>		
到達度評価の 評価項目	<p>1)コーチングの原理原則を説明することができる。</p> <p>2)運動者とコミュニケーションをとり, 運動者が目標達成するために気づきを与えることができる。</p>		
授業計画			
第1回	ガイダンス		
第2回	<p>コーチングの理論①</p> <p>スポーツコーチングの歴史, 現状</p>		
第3回	<p>コーチングの理論②</p> <p>コーチの役割</p>		
第4回	<p>コーチングの理論③</p> <p>コーチの倫理観, 求められる資質</p>		
第5回	<p>コーチングの理論④</p> <p>コーチングの原理原則</p>		
第6回	<p>コーチングの理論⑤</p> <p>コーチングとスポーツ科学</p>		
第7回	<p>コーチングの理論⑥</p> <p>スポーツコーチングとパフォーマンス</p>		
第8回	<p>コーチングの理論⑦</p> <p>発育発達に即したコーチング</p>		
第9回	<p>まとめ①</p> <p>コーチング理論のまとめと実践準備</p>		
第10回	<p>コーチング実践①</p> <p>コミュニケーションスキル向上のための実践演習</p>		
第11回	<p>コーチング実践②</p> <p>モチベーションアップのための実践演習</p>		
第12回	<p>コーチング実践③</p> <p>年齢に応じたコーチング</p>		
第13回	<p>コーチング実践④</p> <p>映像を用いたコーチング</p>		
第14回	<p>コーチング実践⑤</p> <p>技術レベルに応じたコーチング</p>		
第15回	<p>まとめ②</p> <p>コーチング理論と実践のまとめ</p>		
教科書・参考書等	適宜資料を配付する。		
授業で使用する 機器等	パワーポイント		
予習・復習への アドバイス	各回とも講義内容を確認し、参考文献・資料を読む。		
履修上の注意・ 受講条件等	遅刻厳禁		
成績評価の基準等	<p>1)授業態度(20/100)</p> <p>2)課題テスト(40/100)</p> <p>3)課題レポート(40/100)</p>		
メッセージ			
オフィス・アワー	木曜日1時限		
その他			